

## 「最終報告」の構成および論点に関するメモ

## 1. 「論点整理」へ今後追加する内容

- 「現状認識」
  - 論点整理の現状認識に、「国民生活基礎調査」「就業構造基本調査」の特別集計の主要な結果を追加する
- 「施策の現状」
  - 論点整理が指摘する課題に対し、施策の現状を取りまとめる
- 「課題と取組」
  - 「施策の現状」を踏まえて課題と取組を取りまとめる

## 2. 「施策の現状」について報告する観点

- すでに施策の対応が図られている分野については下記の点から評価、記述する
  - 論点整理が指摘する課題に対してどの程度対応できているか
  - 男女別のニーズの把握や男女共同参画の視点の導入、施策の評価の有無
  - 関係主体間の連携はとれているか
- 施策の対応が十分でない部分については、下記の点から評価、記述する
  - なぜ、施策が行われていないか
  - 課題は何か
- 現下の経済社会状況対応する、関連する報告書などの内容

## 3. 「課題と取組」について提言する観点

- 「施策の現状」を踏まえ、明らかになった課題について解決の方向性を検討する
- 「論点整理」で「5.（3）対応の基本的視点」として指摘されている次ページの点にも留意する

## 「論点整理」が指摘する視点

### 「5. (3) 対応の基本的視点」(抜粋)

- 生活困難の中にある男女共同参画をめぐる問題への着目
  - かつて女性では問題視されてこなかったパートタイム労働者の非正規雇用をめぐる問題も、(中略) 暗黙のうちに女性は経済的な自立を必要としない存在として社会的に捉えられ、問題が見過ごされてきたことに他ならない。
  - 税制・社会保障制度などの仕組みが女性の就業活動の選択に影響を及ぼし、現下の経済社会の変化の下女性の生活困難リスクの顕在化に影響してきた側面もある
- 女性の生活困難の防止に不可欠な男女共同参画施策の推進
  - 女性の生活困難を防止するためには男女共同参画のための施策を推進し、女性が生活困難に陥りやすい要因を解消することが不可欠である
    - ✓ 出産・育児等のライフイベントを経ながらも希望する形で就業継続を図ることができるよう固定的性別役割分担意識の解消、家庭や地域における男女共同参画を推進すると共に、男女間の雇用機会均等の確保等により女性が働きやすい就業構造への改革を一層推進していくことが必要とされる
    - ✓ 女性の尊厳を著しく傷つけ、自立を困難にする女性に対する暴力の防止と被害者支援の対策を一層進める
- 女性のライフコースを通じたエンパワーメントと総合的な支援
  - 出産・育児等のライフイベントの影響を受けやすい女性については、多様なライフスタイルの選択を重視しながらも、その持てる力を発揮して経済的自立が図られるように、女性のライフコースを通じたエンパワーメントの視点から、総合的な支援を進めることが重要である。
  - 個人のニーズを中心としてさまざまな支援策を用意し、それらを総合的に提供することが重要である。